

学生新聞

放送大学
埼玉学習センター
埼玉CSC交流会
学生新聞
編集委員会
〒330-0853
さいたま市大宮区
錦町682-2
TEL.048-650-2611

実りの秋の学園祭

第6回埼玉フェスタ開催

10月13日(土)～14日(日)

フェスタに 皆で集まり、楽しもう!

毎年行われている埼玉フェスタの季節がやってきた。今年も来る10月13日(土)～14日(日)の二日間フェスタが開催される。このフェスタは、とかく孤独な学習に陥りやすい通信制大学において、学生、同窓生、教職員が一体となって交流を深め、埼玉学習センターを楽しむ学びの場にするために開催されているもので、今回で6回目となる。

フェスタの 主なイベント

今回のフェスタの主なイベントを紹介する。

第1日目 13日(土)は

午前10時からソーシャルダンスクラブによる「社交ダンス・無理なく青春へターン」が講堂で開催される。初心者もこの際気軽に参加して踊ろう。熟年会の公開勉強会は「福島原発で何が起きたか、現状と今後の収束」

公開講演会 韓流ドラマと史実

午後2時から、公開講演会が開催される。吉田副学長による「韓流歴史ドラマに見る朝鮮時代史像〜歴史意識と史実のはざま〜」と題する講演である。今流行中の韓流ドラマのファンにとっても見逃せないテーマだ。

第2日目 14日(日)は

午前10時から熟年会PC教室で初心者を対象に「PCアルバム作成」

と題して、実際に福島で起きたことを技術的な面から、原子炉の基礎と原子力発電所の設備や事故後の経緯と現状、そして今後について学習する。第1講義室で開催。原発事故について正しい知識を身につけよう。12時からトレヴィイの会による「オカリナ演奏」がある。メンデルスゾーンの名曲「歌の翼」ほかの演奏、清らかな音色を楽しもう。

二日間共通の イベント

二日間共通のイベントとして第2講義室では各サークルの団体活動の展示や未来の会の絵手紙教室、第3講義室では各団体によるバザー、第4・第5講義室に於いては、学生、同窓生、教職員の写真や絵画、工芸品等の個人作品の展示、9階ロビーの茶席コーナーで抹茶と和菓子のサービス、茶席の横では俳句・川柳大会の投句、選句箱が置かれる。出来れば二日間、埼玉学習センターに集い、イ

交流パーティに 参加しよう

14日(日)、すべての

イベントが終了した後、午後3時30分から講堂でフェスタ恒例の行事となっている、賛助券協力者による交流パーティが開催される。学生、同窓生、教職員が一つテーブルを囲み、ドリンク片手に学びを語り、未来の夢を語り合うパーティである。歌好きの方にはプロのアカデオン奏者清水信治氏が伴奏して盛り上げてくれる。俳句・川柳大会入選者の表彰、豪華(?)賞品が当たる大抽選会も楽しみである。左の写真は昨年のパーティ

探訪コーナー

熊本 学習センター

8月25日、26日の2日間に行われた、初めての放送大学同窓会九州地区情報交換会が熊本学習センターで開催された。この会は福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島・沖縄・熊本計8県の同窓会が一堂に会して情報交換し、施策の水平展開を行い九州地区の同窓会活動の活性化を図るために企画された。同窓会連合会では、全国化に伴うプロック化構想を持っており、今回の会がその口火を切ることになるとして、この企画

を応援し齋藤連合会長と共に私も参加することになった。熊本学習センターは平成3年に崇城大学内に開設され、平成18年に熊本大学内に移転した。熊本大学は旧制第五高等学校として設置され、嘉納治五郎が校長を務めたことや、ラフカディオ・ハーンや夏目漱石が教鞭をとったという歴史を持っている。広大なキャンパスには樹木が茂り、その幹の太さや高さからも歴史を感じ取ることができるが、五高記念館は重要文化財として残されている。情報交換会の開催地とな

生涯学習奨励賞 受賞者名

- 金剛賞(全コース終了) 鈴木 悟 さん
- 金賞 岩本四津男 さん
- 高橋 忍 さん
- 銀賞 杉山美峰 さん
- 割田 均 さん
- 渡邊富美子 さん
- 白鳥 誠 さん
- 富岡慶子 さん
- 銅賞 岡野充甫 さん
- 樋口知生 さん

卒業証書・ 学位記授与式

平成24年9月30日(日)午前11時から、学習センター18F講堂において、平成24年度第1学期の卒業証書・学位記授与式が行われます。卒業生は、



第2学期の 入学者の集い

平成24年度第2学期の入学者の集いは、10月6日(土)午後1時30分から埼玉学習センター18F

学生研修旅行 参加者募集中

今年度の学生研修旅行の日程が10月25日(木)に決まりました。「埼玉

県南部の伝統産業と新産業」をテーマに見沼通船堀、花と緑の振興センター、川口鋳物工場、埼玉県産業技術総合センターを見学します。参加希望の方は、9月25日から受付します。事務室までお申し込みください。参加者は、必ず「学生教育研究災害傷害保険」への加入をしてください。募集人数は40名、先着順となっています。

賛助券購入の ご協力を

フェスタの運営経費は、賛助券購入のご協力で賄っています。一枚千円で、購入の方には個人作品の展示、抹茶席の利用、俳句・川柳の投句、交流パーティへの参加等の特典があります。皆様のご協力をお願いします。詳しくは、各サークルの責任者もしくはCSC交流会事務局の篠田まで問い合わせください。



た熊本同窓会では25日、石和会長が中心となり在学生との交流会、修士論文・卒業論文発表会が行なわれた。私たちは九州各県の同窓会長とともにオプゾーバーとして参加し、熊本同窓会の活動の様子を体験させていただいた。翌26日は朝から本日の情報交換会が行なわれ、佐賀と台風で出席できなかった、熊本同窓会の同窓会長の意見が活発に交わされた。その中でそれぞれの地域で悩みや文化があり、関東で想像しているだけでは理解できない現状を垣間見ることが出来た。そして、どの同窓会も学習センターとの連携を密に持ち、学生

学生手帳

「重圧感(プレッシャー)」
笹原誠二

真夏のスポーツ祭典としてのロンドンオリンピックも無事27日間の日程を終了した。日本選手団は2004年のアテネ大会を上回る38個のメダルを獲得。サッカー、排球、卓球、レスリング、水泳陣の健闘ぶりで大いに盛り上がった。柔道や陸上競技のように予想通りの成績を修めることのできなかつた競技もあるが、全体としては「期待にこたえてよく頑張った」と評価してもよいのではないだろうか。試合直前に、報道陣からの選手やコーチへのインタビューや取材の様子がテレビで流されていたが、その質問内容にさかさか行き過ぎの感がしてならない。

特にオリンピックの優勝候補や有力選手は、4年に一度の大会に備えて、極限状態まで練習をして試合に臨んでいるはずだ。極度の緊張感と重圧感で試合直前まで大変なストレスと闘っている。特に個人戦の出場選手は期待感にもまして不安感でいっぱいであろう。応援の積りのインタビュー攻勢が逆に選手に重圧感を与えて逆効果にならぬよう、試合直前は静かに精神を統一させ、実力を発揮させてあげることが大切であろう。そして、試合中は心から声援してあげることが、さらに良い結果につながるのではないだろうか。

フェスタに集まろう!

10月13日(土)～14日(日)
埼玉学習センター学園祭

サークルや在学・同窓の絆を超え、
同じ志の仲間と交流しよう!!

多彩なイベント

10月13日(土)

- 10時～社交ダンス体験(展示)、公開講演会(第1講義室)
- 12時～オカリナ演奏(展示)
- 14時～公開講演会(吉田副学長 放送大学副学長)

「韓流歴史ドラマに見る朝鮮時代史像〜歴史意識と史実のはざま〜」

10月14日(日)

- 10時～PC教室(第2講義室)
- 10時50分～韓流ドラマ(展示)、公開講演会(第1講義室)
- 15時～DVDオプゾーバー(第1講義室)
- 16時30分～交流パーティ

10月13日～14日の2日間開催

- 団体展示・金庫展示(第2講義室)、バザー(第5講義室)
- 個人作品展示(第4・5講義室)、茶席コーナー(第ロビー)
- 俳句・川柳大会(第ロビー)、茶席の投句・選句箱

フェスタの運営経費は「賛助券」の協力で賄っています。ご協力ください。
【賛助券には、個人作品の展示、抹茶席の利用、俳句・川柳の投句、交流パーティ等の特典があります。購入は各サークル責任者または当日のフェスタ会場の受付まで】

放送大学埼玉学習センター-CSC交流会

投稿コーナー

探訪 さいたま市岩槻区(二)

荒川良雄

岩槻区の歴史
岩槻区の特徴は「人形」と「岩槻城」である。「人形」については前回は「岩槻城」について述べる。

大化の改新(645)における土地政策は土地の国有化であった、人口増加と社会生活が複雑化してきたために、土地国有化制度は行き詰まりをみせ、土地私有制になった。

土地私有が許可になると、都・地方の権力者は競って土地の利権を奪取する。原野を開墾し広大な耕作地を私有するようになった。このようにして出来た私有地は荘園(しやうえん)と呼ばれ、平安時代末期から室町時代にかけて盛んになった。埼玉県・東京都・神奈川県にまたがる「武蔵の国」には、荘園を地盤としている武士の団体が七つあり、これを武蔵七党と呼んでいる。岩槻は武蔵七党の一つである野与党の一族、江氏の荘園であった。

室町時代になると、京都の足利将軍家と鎌倉の足利関東管領の争いが始まった。時代は移り足利4代将軍義隆と関東管領足利持氏の騒乱がおこり、それに加え鎌倉は扇谷上杉と古河公方(関東管領)

最後に岩槻区の歴史の中で興味ある事項をのべる。

戦時中さいたま市岩槻区高曾根と越谷市小曾川にまたがる「しらこぼと水上公園」に接する部分に本土決戦のため陸軍飛行場が建設された。飛行場諸元は滑走路長1500メートル、幅60メートル、南北、工事開始は昭和19年(1944)7月、完成は昭和20年(1945)8月だった。飛行場が使用されたのは、ただ一回のみ、それも終戦直前陸軍航空機の不時着とのこと。終戦後進駐軍が進駐地とし、現在は埼玉県の県鳥になっている「シラコボト」(白小鳩)をめぐってやたらに発砲し、絶滅寸前までにするなど近隣住民は難儀した。

「時の鐘」は寛文11年(1671)に城主阿部正春が新築した。この鐘は、洪江口の鐘楼堂におさめられ、卯午の時(午前6時頃)、酉の時(午後6時頃)の三回にわたり撞かれていた。阿部家では、この鐘撞き役として足軽二人、中間二人の計四人を当てていた。

おわり

に分離し武蔵野の覇権争奪を行った、扇谷上杉は執事太田道真に命じて、奥州街道沿いに城を築き古河公方を阻止する策を命じた、道真はその子道灌に命じ築城の地を選定させ、武州埼玉郡洪江郷岩槻に城を築くことにし、永禄元年(1457)築城に至った。道灌は上杉氏のため川越・江戸と順次築城した。その後岩槻城は小田原北条氏の支配するところとなったが、天正18年(1590)5月、豊臣秀吉の小田原征伐の一環として、徳川家康の率いる2万の攻撃を受け、岩槻城は落城した。

関東征伐の功によって関東へ封せられた徳川家康は、天正18年(1590)8月江戸城に入城してからは徳川譜代の臣、高力清長を岩槻城主とし次いで青山・阿部・板倉・戸田・松平・小笠原・永井・大岡の9氏24代、265年の武家政治を行った。幕末第24代藩主大岡忠貞(ただてる)は慶応3年10月徳川慶喜の大政奉還後官軍側となり、少人数ながら藩相応の役割を果たし、明治17年(1885)年の華族令に基づき子爵に任ぜられた。

時代を経て、平成17年4月さいたま市岩槻



右は時の鐘の模型

よもやま話 ようすや

ヒッグス粒子

素粒子には質量が無いものばかりで、どうも変だと考えた英エディンバラ大学ピーター・ウェア・ヒッグス先生(現83歳)は、1964年に質量がある素粒子の存在を考えたし、新理論を作り上げてしまった。

ヒッグス場としての空間では、質量が無く光速で動く素粒子がヒッグス場との相互作用で影響を受け、光速での動きがしだいに鈍くなっていく。ヒッグス先生は、その素

粒子が動きにくくなった理由を、素粒子が自分自身の重さ(質量)を持つていからであると結論づけた。素粒子自身に質量があると、今までの状態を維持しようとする慣性が働くのである。

この質量を持った素粒子は他の質量を持つ素粒子を互いの引力で引き寄せて、原子核構成の要因になった。即ち、質量を持った素粒子の存在が物質を作る原因となり、引力や重力子の元であると推測したので。

物理化学で、原子核は陽子・中間子が膠で接

日々好日(五)

岡里順子

某月某日(時には悪日)

お盆休みを前に東京駅は混雑していた。大きな荷物を持つ親子連れに、電車の乗り場を聞かれ説明に時間を取られて、発車時間ぎりぎりの「ひかり」に飛び乗った。

車内は満席だったが一つ空席を見つけたので傍に行くと、若い男性の横に荷物が置いてあったので、「こちらは空いていますか?」と問うと、無言でスマホの画面を見つめていて、荷物を動かしてはくれなかった。多分知人のために席を取ってあるのかと思い、諦めた。

某月某日

背中が痛みがあった近所の整形外科医院に行った。玄關で屈んでスリッパを取るのをどうしようかと躊躇している、少年が駆けよってきて柵から出して私の前に揃えてくれた。杖を突いていた私を見て体の不自由を察してくれたようだった。「ありがとう」と言うと、チョッと照れた顔が可愛かった。

待合室で少年の母親の隣に座って、「やさしいお子さんですね。何年生ですか」と聞くと、「1年生ですが、一日に何か良いことを一つして、それを絵日記にするのが夏休みの宿題なので、多分、今日の日記に書くのでは」と笑顔で話してくれた。

新学期が始まった。夏休みの宿題の絵日記の1ページには、私がモデルの杖を突いたお婆さんの姿が描かれていることだろう。



サークル案内

サークル おおみや

9月29日(土)
「10月1月の活動計画」
13時~16時学習センター
講堂A会議室
10月6日(土)
入学者の集いにおける
サークル紹介

健康体操研究会

秋だ!フェスタだ!
健康体操だ!
十月十四日(日)午前
十時三十分より八階講堂
にて健康体操のイベント

江戸時代の 古文書を読む会

勉強会
10月20日(土)
10月27日(土)

トレヴィイの会

「民音音楽博物館」の
見学会、10月20日(土)
11時にJR信濃町集合
・第36回短歌を楽しむ会
11月17日(土) 10時
埼玉学習センター

放送大学熟年会

定例勉強会
10月13日(土)
フェスタ「公開勉強会」
福島原発の事故と今後
11月13日(火)
テーマ未定
PC学習会
毎週火曜日(第2火曜
日を除く)
イベント

詩歌・川柳

俳句

「つみ草」
衣被こよひは雨の母の側
乙女子や文庫結びの初浴衣
灼熱の戦いの朝金メダル
羽広げ蝉の骸や風の中
蟬時雨坂の上なる影ぼうし

川柳

敏子
安代
明美
由美
八重子
川柳
ニッポンエレジー
永田町 不快指数は 右上がり
永田町 霞が関に 牛耳られ

四倉 光

想ひ解くことは明日に女郎花
驚草の白き翼は風の中
仰ぐれば雲の行方に秋茜

朗読の会「いろ」

11月16日(金)
国会議事堂見学
10月2日(火)、9日(火)フェスタに向けての練習
10月14日(日) 10時30分
から『夢十夜』公演

ソシアル ダンスクラブ

10月6日・11月10日・11月17日・11月24日は下落合コミセンで10時~12時
10月13日は埼玉フェスタ
10月20日は大学講堂10時~13時

編集後記

10月13日、14日には年に一度のフェスタ(学園祭)が開催されます。公開講演会を初め、多彩なイベントがありますので、大勢の皆さんの参加が望まれます。

次号は11月下旬発行予定です。皆様の投稿をお待ちしています。(若松)